

令和5年1月28日

講演会報告

鯉城・堀川と生活を考える会

1月23日（月）、今年度第1回講演会が東区のウィルあいちで開催されました。
会員22名が参加しました。
内容は次の通りです。

- ・講師 中部大学工学部都市建設工学科 武田誠教授
- ・演題 堀川の水質・ヘドロ等と大雨時の地下街の浸水と避難について

まず「堀川の水質改善、ごみ問題、においの改善」についての講演がありました。2005年に武田教授が担当して現地調査を行った時のデータをもとにしたもので、水質変化の再現と実態、調査方法と改善方法、浮遊ごみの問題、においとヘドロに関する現地調査などの講義があり、考える会が行っている活動の為に非常に参考になりました。名古屋市は現在水質改善のための施策を継続して行っており、現在の水質に関するデータは確実に良くなっていると感じました。

次に「大雨時の地下街の浸水と避難について」の講義がありました。大雨時の名古屋駅周辺の洪水と避難についての研究発表で、洪水には内水氾濫（豪雨）と外水氾濫（洪水）がありますが、大都市で洪水が発生した場合を想定した氾濫解析モデルと地下街の浸水解析を使用した研究結果の説明がありました。

中部大学で行った研究の背景として地下空間は浸水被害に脆弱であり、1日平均10万人以上の来街を誇る地下街が全国で18か所あるとのこと。破堤箇所の距離と名古屋駅周辺の地下街にいる人が、浸水後階段を使って避難する最短時間のデータの説明や地下街、地下鉄駅からみた危険な堤防の把握や地下街、地下鉄駅の防災面の活用等が必要であることがデータや図で説明がありました。

今回の講義を受講して、我々は近年増加の傾向にある大雨時の浸水災害並びに地下街での避難経路について、日ごろからもっと真剣に考える必要があると思いました。

文責 広報 谷田

